

梅原の子

Umebara Elementary School
梅原小学校 学校だより
令和7年11月21日号

夢を応援する学校に

校長 塙岡 靖司



多くの保護者の皆様、地域の皆様、ゆう友ふれあいフェスタ 2025 の参加、ありがとうございました。梅原小学校が、地域の方に支えられている学校であることを、感じる日になりました。

今年は、新たに夢を語り合う時間を設けました。スポーツやものづくり、学問の分野と、皆さんの夢を聞かせてもらいました。素敵な時間になりました。

私は、夢を語り合うことには、大きな力があると考えています。その一つが「自分の未来を具体的に思い描く」ことです。思い描いた未来は、目標となり、努力の方向を照らしてくれます。

メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手も、高校時代に「夢を言葉にする力」を大切にしていました。大谷選手は花巻東高校で、目標や将来の姿を細かく書き込む「目標達成シート」を作成していました。「160キロを投げる」「ドラフト1位でプロに入る」「世界一の選手になる」など、自分の夢を明確に書き、仲間と共有し、日々その実現に向かって努力を積み重ねたといいます。

夢を語ることで、自分を奮い立たせるだけでなく、仲間との応援関係が生まれ、挑戦が続く環境ができていきました。

今回の夢を語り合う時間を通して、皆さんの夢を応援するために、学校ができるることは、何かを考えてみました。

①活躍した結果を、披露できる場をつくる。(ぜひ、賞状等をもってきてください)

②安心して、夢を語ることができ、活動が披露できる場をつくる。

③将来の選択肢が広がるように、豊かな知識を学ぶ場を提供する。

まずは、これらのこと、学校は大切にしていきます。みなさんが未来への一歩を踏み出す勇気を、後押ししていきます。